

平成 29 年度～平成 32 年度 社会福祉法人楽水会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人楽水会		法人番号	5400005004521				
法人代表者氏名	理事長 加藤哲夫							
法人の主たる所在地	岩手県釜石市小佐野町三丁目 9 番 50 号							
連絡先	電話 0193-25-2600		FAX 0193-25-2605					
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成 29 年 6 月 7 日							
評議員会の承認年月日	平成 29 年 6 月 23 日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成 28 年度末現在)	1 か年度目 (平成 29 年度末現在)	2 か年度目 (平成 30 年度末現在)	3 か年度目 (平成 31 年度末現在)	4 か年度目 (平成 32 年度末現在)	5 か年度目 (平成 33 年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	47,390 千円	42,875 千円	30,875 千円	10,875 千円	0 千円	0 千円		0 千円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		▲4,515 千円	▲12,000 千円	▲20,000 千円	▲10,875 千円	0 千円	▲47,390 千円	
本計画の対象期間	平成 29 年 9 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1 か年度目	ユニットケア充実事業	社会福祉事業	既存	家庭的な雰囲気の中で生活するユニットケアの重要な要素である設えを充実するため、10 カ所のユニット入り口に木製建具の玄関を設置する。	有	4,515 千円
				小計		
2 か年度目	ユニットケア充実事業	社会福祉事業	既存	入居者が安全に安心して生活していくことができるよう全居室 100 室の内、第 1 期工事として 2 階居室棟の 60 室について、各居室のドアを現在の手摺が付いた鉄製ドアから木製引き戸に変更し手摺を居室脇の壁に設置。 居室の床をクッション性のあるものに張替。入居者が間違えて他のユニットに行くことが無いよう、各ユニットの	有	12,000 千円

				共有スペースのクロスをユニット毎に色を変えて張替。 入居者・利用者・ご家族等の休憩所・懇談場所に利用している2階カフェを拡張するためカフェ奥の喫煙室を屋外に移設し、関係備品も購入する。		
	小計					12,000 千円
3か年度目	ユニットケア充実事業	社会福祉事業	既存	入居者が安全に安心して生活していくことができるよう全居室100室の内、第2期工事として1階居室棟の40室について、各居室のドアを現在の手摺が付いた鉄製ドアから木製引き戸に変更し手摺を居室脇の壁に設置。 居室の床をクッション性のあるものに張替。入居者が間違えて他のユニットに行くことが無いよう、各ユニットの共有スペースのクロスをユニット毎に色を変えて張替。	有	8,000 千円
	職員の処遇改善を含むデイサービスセンター拡充事業	社会福祉事業	既存	釜石市から受託していた生活支援ハウス事業について、市の委託事業廃止に伴い、利用者の利便性・快適性等の向上等を図るためのデイサービスセンター拡張に係る第1期改修工事として、生活支援ハウス居室(5室)を撤去し、利用者の静養室・相談室・機材室・トイレ等に改修。廊下及び共有スペースに天井埋込み型エアコンを設置する。 併せて、職員の福利厚生向上対策の一環として、生活支援ハウス居室(5室)を撤去し、談話室・休憩室・個室スペース・トイレ等を整備する。 改修に伴い関係備品等も整備する。	有	40,000 千円
	小計					48,000 千円
4か年度目	職員の処遇改善を含むデイサービスセンター拡充事業	社会福祉事業	既存	釜石市から受託していた生活支援ハウス事業について、市の委託事業廃止に伴い、利用者の利便性・快適性等の向上等を図るためのデイサービスセンター拡張に係る第2期改修工事として、既存の機能回復訓練室と和室等を拡張するため、既存の静養室、機材室、相	有	40,000 千円

				談室、トイレ等を撤去。 利用者ロッカーの移設と職員詰め所脇の喫煙所を屋外に移設し職員詰め所を拡張する。 利用者の体調管理や快適性の向上のため天井埋め込み型エアコン等も整備する。改修に伴い関係備品も整備する。		
小計						40,000 千円
5 年 度目						
	小計					
合計						104,515 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業 (小規模事業)	ユニットケアの充実と入居者の安全確保のため各ユニットに玄関を設置すること及び各居室のドアや床を改善すること。生活支援ハウス受託事業の廃止に伴い、デイサービスセンター利用者が快適にサービスを受けることができるようデイサービスセンターを拡充すること。職員の処遇改善のためデイサービスセンター拡充事業と併せて休憩室等の設置を行うことの3つの取組を行うこととした
② 地域公益事業	①の取組を行う結果、残額は生じないため実施しない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取組を行う結果、残額は生じないため実施しない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
ユニットケア 充実事業	計画の実施期間における事業費合計	4,515 千円	12,000 千円	8,000 千円	0 千円		24,515 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	4,515 千円	12,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	16,515 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
	その他			8,000 千円			8,000 千円	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
職員の処遇改善を含む デイサービスセンター 拡充事業	計画の実施期間における事業費合計	0千円	0千円	40,000千円	40,000千円	0千円	80,000千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	0千円	0千円	20,000千円	10,875千円	0千円	30,875千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益				9,125千円		9,125千円
		その他			20,000千円	20,000千円		40,000千円

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	ユニットケア充実事業	
主な対象者	当法人運営の特別養護老人ホームの入居者、ご家族	
想定される対象者数	100人	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成32年3月31日	
事業内容	<p>家庭的な雰囲気の中で生活するユニットケアの重要な要素である設えを充実するため、平成29年度内に10カ所のユニット入り口に木製建具の玄関を設置する。</p> <p>平成30年度を第1期工事として、入居者が安全に安心して生活していくことができるよう全居室100室の内、2階居室60室のドアを現在の手摺が付いた鉄製ドアから木製引き戸に変更し、手摺を居室脇の壁に設置。居室の床をクッション性のあるものに張替。入居者が間違えて他のユニットに行くことが無いよう、2階居室棟3棟の共有スペースのクロスをユニット毎に色を変えて張替。</p> <p>平成31年度を第2期工事として1階居室40室と居室棟2棟の改修工事を行う。また、第1期工事期間内で入居者・利用者・ご家族等の休憩所・懇談場所等に活用している2階カフェを拡張するため喫煙室を屋外に移設し、関係備品も購入する。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	10カ所のユニット入口へ玄関設置
	2か年度目	<p>2階居室60室のドアを木製引き戸に変更。</p> <p>居室の床をクッション性のあるものに張り替え。</p> <p>居室棟3棟の共有スペースのクロスを張り替え。</p> <p>2階カフェの拡張及び喫煙室の屋外移設、備品の購入。</p>

	3か年度目	1階居室40室のドアを木製引き戸に変更。 居室の床をクッション性のあるものに張り替え。 居室棟2棟の共有スペースのクロスを張り替え。
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	○ユニット玄関設置工事(木製建具工事) 木製建具3連引き戸仕様 10組×298,000円＝ 2,980,000円 造作・設置組工事 10カ所×85,000円＝ 850,000円 クロス工事 10カ所×15,000円＝ 150,000円 搬入諸経費 一式 200,000円 消費税 334,400円 合 計 4,514,400円 ○居室ドアの改修及び床材、クロス等の張替え工事 一式 18,000,000円 ○2階カフェ拡張及び屋上喫煙室設置工事 一式 2,000,000円	
	合計	24,515千円(うち社会福祉充実残額充当額 16,515千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※本計画において複数の事業を行う場合は、2.事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員の処遇改善を含むデイサービスセンター拡充事業
主な対象者	当法人運営のデイサービスセンター利用者、特養及びデイサービスセンター職員
想定される対象者数	利用者 20人/日 延べ年間利用者 5,700人 職員 90人
事業の実施地域	—
事業の実施時期	平成31年4月1日～平成33年3月31日
事業内容	釜石市から受託していた生活支援ハウス事業について、市の委託事業廃止に伴い、利用者の利便性・快適性等の向上等を図るためのデイサービスセンター拡張に係る改修工事について、平成31年度を第1期として、生活支援ハウス居室(5室)を撤去し、利用者の静養室・相談室・機材室・トイレ等に改修。 廊下及び共有スペースに天井埋込み型エアコンを設置する。 併せて、職員の福利厚生向上対策の一環として、生活支援ハウス居室(5室)を撤

	<p>去し、談話室・休憩室・個室スペース・トイレ等を整備する。</p> <p>平成 32 年度を第 2 期改修工事として、既存の機能回復訓練室と和室等を拡張するため、既存の静養室、機材室、相談室、トイレ等を撤去。</p> <p>利用者の体調管理や快適性の向上等のため天井埋め込み型エアコンを整備する。</p> <p>利用者ロッカーの移設と職員詰め所脇の喫煙所を屋外に移設し職員詰め所を拡張する。これらの改修工事に伴い関係備品を購入する。</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	
	3 か年度目	<p>生活支援ハウスの撤去改修工事</p> <p>デイサービスセンター利用者用静養室等の整備</p> <p>職員用談話室・個室等の整備</p> <p>関係備品の購入</p>
	4 か年度目	<p>既存デーサービスセンターの改修工事及び喫煙所の移設工事</p> <p>関係備品の購入</p>
	5 か年度目	
事業費積算 (概算)	<p>第 1 期 生活支援ハウス撤去改修工事 一式 40,000 千円</p> <p>第 2 期 既存デーサービスセンター改修工事及び喫煙所の移設工事 一式 40,000 千円</p>	
	合計	80,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 30,875 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--